

計画のポイント

岩見沢市では、水稻を中心とした食料供給基地という地域特性を背景に、産業別分析において「食料品製造業」の占めるウエイトが高い。また、「充実したICT環境」を背景とした企業進出・雇用創出も進展している。

周辺商圈地域を含め人口減少と少子高齢化が進む現在、これらの地域特性をはじめ、地理的優位性や欧州的な雰囲気を感じさせる観光資源を活かし、地元旅行関係業者や旅館ホテル業界、交通業界との連携による「観光産業」、健康経営都市を背景とした産学官の連携・共創による岩見沢産農産物を用いた健康食品の開発販売や各種健診データ等を用いた新たな「ヘルスケアサービス」の具体化、さらには有利な交通アクセスを活かし市内で生産される農産物や製品等を大消費地へと供給する「物流関連産業」など、外貨獲得が期待できる「域外市場産業」の活性化を図ることにより、安定かつ質の高い雇用創出や地域内の他産業への経済的波及効果を含め地域経済における好循環環境の形成を目指す。

促進区域

北海道岩見沢市

経済的効果の目標

1件あたり平均50百万円の付加価値を生む地域経済牽引事業を5件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.4倍の波及効果を与え、促進区域で350百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑤のいずれか）】

- | | |
|------------------------------|--------------|
| ①【地域の特性】岩見沢市の食品製造業の集積 | 【活用戦略】食品製造関連 |
| ②【地域の特性】岩見沢市の充実したICT基盤 | 【活用戦略】デジタル |
| ③【地域の特性】岩見沢市のファイナリー等の観光資源 | 【活用戦略】観光 |
| ④【地域の特性】岩見沢市の先駆的な健康経営都市宣言の取組 | 【活用戦略】ヘルスケア |
| ⑤【地域の特性】岩見沢市の道央自動車道等の交通インフラ | 【活用戦略】物流関連産業 |

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：3%増加
- 雇用者数：6%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の減免措置
- ・新産業創出・雇用促進支援補助金
- ・事業推進に必要な公共データの活用の推進
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・岩見沢市総合戦略等推進委員会や岩見沢企業親睦会等への情報提供

地域経済牽引支援機関

岩見沢市総合戦略等推進委員会、IT活用による地域課題解決検討会、岩見沢市農業所得向上等協働促進協議会、岩見沢市観光協会、ICT関連施設等

《促進区域図》



計画期間

本計画の計画期間は、計画同意の日から令和10年度末日までとする。

「北海道岩見沢市基本計画」に基づき法第11条第3項の規定による同意（法第12条第1項の規定による変更の同意を含む。）を受けた土地利用調整計画に関する変更の同意及び法第13条第4項の規定による承認（法第14条第3項の規定による変更の承認を含む。）を受けた承認地域経済牽引事業計画に関する変更の承認及び承認の取消しについて、当該同意基本計画の失効後も、なお従前の例による。